
朝日スーパーライン 利用促進協議会総会

- ・朝日スーパーラインの整備状況
- ・朝日スーパーライン山岳遭難発生状況
- ・朝日スーパーライン山岳遭難救援体制



【令和7年度第8回朝日スーパーライン写真コンテスト副会長賞】 ©2025 伊與部順一

朝日スーパーライン(一般県道鶴岡村上線)について

1. 路線認定

県道昇格 平成9年1月31日

2. 交通量

1,475台/日 (R3センサス 村上市石住地内)

3. 一般県道鶴岡村上線の現況について

R8.4.1現在

	実延長	改良率 (5.5m以上)	舗装率
新潟県(村上市) 管内	49,395 m	22.2% 10,969 m	89.6% 44,253 m
内 朝日スーパーライン区間	37,330 m	1.8% 661.0 m	87.1% 32,527 m

4. R7年度の通行状況について

日 時	区 間	規制	状況
R4.8.3	二子島森林公園～県境	通行止	災害復旧工事のため
R7.4.25 13:00	岩崩～二子島森林公園	解除	冬期閉鎖解除
R7.11.7 9:00	岩崩～二子島森林公園	通行止	冬期閉鎖

注) R4年8月3日の豪雨災害以降、二子島森林公園から県境までの間を全面通行止

5. 今春の整備状況

令和4年度から災害復旧工事に着手するため、二子島森林公園から県境の区間については全面通行止めを継続し、工事を進めている

岩崩から二子島森林公園の区間については、4月から除雪や路面・側溝清掃並びに安全施設の設置、法面の点検を実施し、4月24日の13:00に冬期閉鎖を解除した。

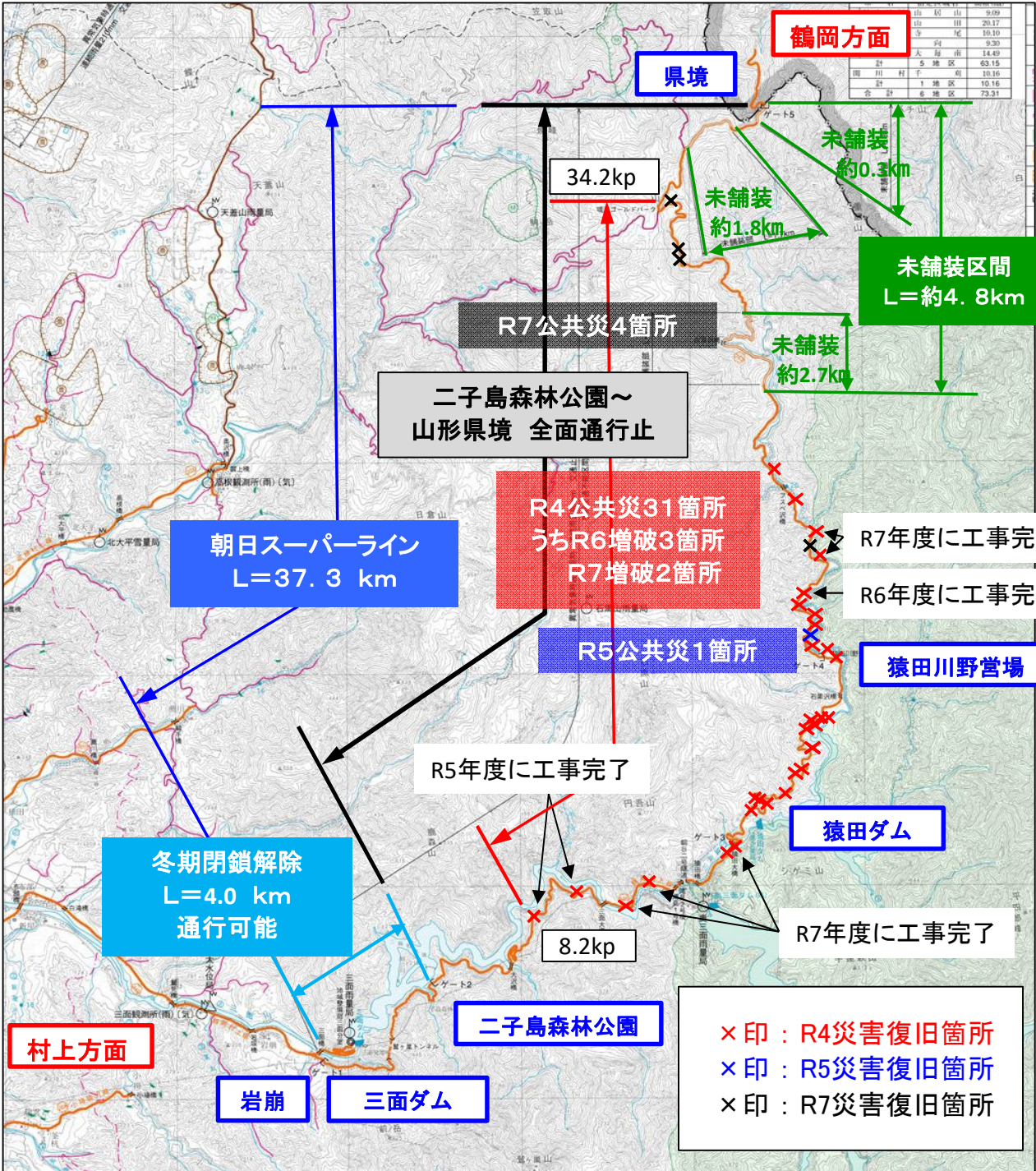


除雪状況



災害復旧工事状況(R4災 13.0kp)

一般県道鶴岡村上線 平面図(新潟県側)



被災状況(12.9kp)



被災状況(20.5kp)

一般県道 鶴岡村上線（三面舗装）事業

概 要

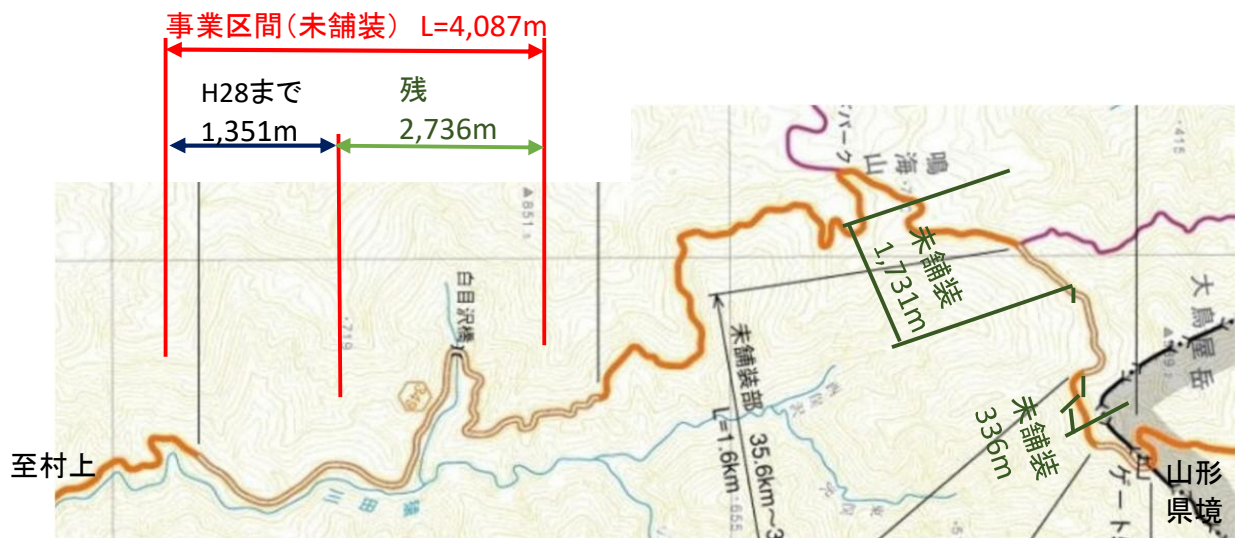
一般県道鶴岡村上線は、村上市中心市街地から北東方向に延びる延長4.9kmに及ぶ路線であり、一般国道7号や日東道を始め数多くの路線と繋がる幹線道路となっている。同市北東部の山間地を経て県境を越えると山形県鶴岡市へ至り、途中沿線には、三面ダムや奥三面ダム、鳴海ゴールドパーク等の観光資源が存在し、観光路線としても重要な機能を果たしている。

本事業では、本路線の車両の円滑な交通を確保することを目的として、未舗装区間である三面地内の舗装整備を進めている。

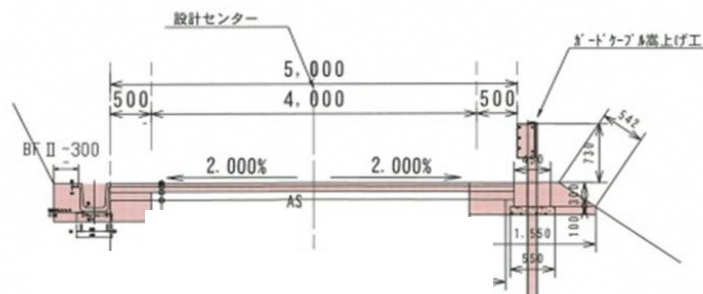
簡 所 名	むらかみ みおもて 村上市 三面
延 長 ・ 規 格	L=4,087m 3種5級(20km/h) W=4.0m(5.0m)
全 体 事 業 費	C=150百万円
R7 年度 まで 事 業 費	C= 62百万円
R8 年 度 事 業 費	C= 0百万円
R8 年 度 以 降 事 業 費	C= 88百万円
事 業 期 間	平成25年度～ ※

※災害により、現地に乗り込み不可能なため休止中

【位置図】

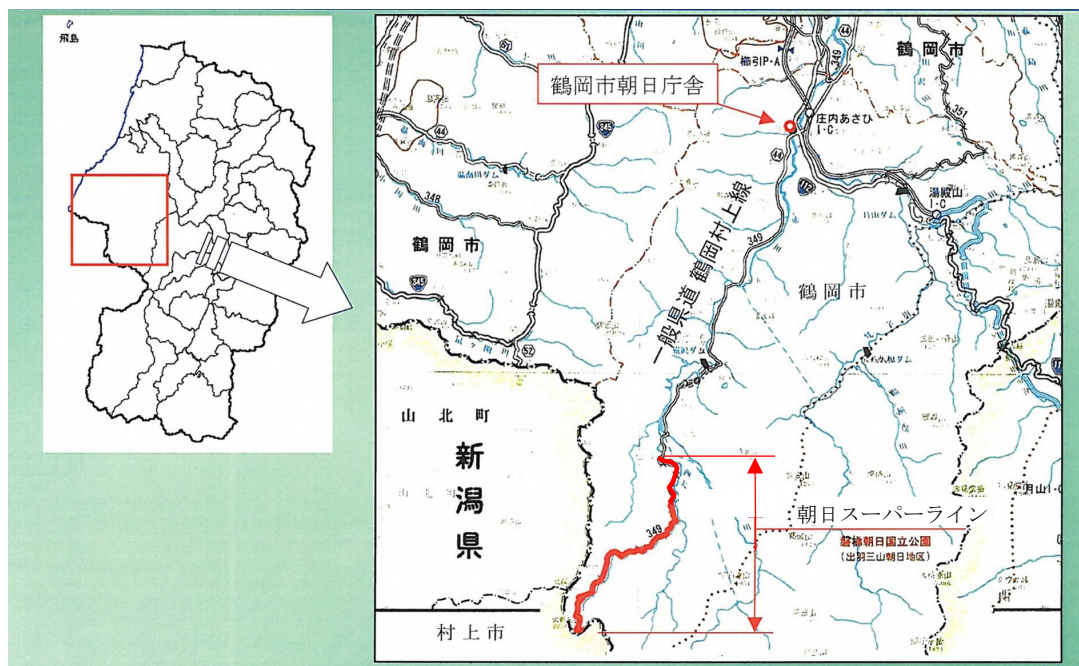


【標準断面図】



朝日スーパーライン（一般県道鶴岡村上線）について

朝日スーパーラインの位置



1 朝日スーパーライン（一般県道鶴岡村上線）の概要について

- (1) 路線概要 延長：14.7 km（旧朝日スーパー林道区間）
幅員：3.0 m前後
路面状況：未舗装区間 L = 9.4 km
- (2) 路線認定 林道完成：昭和58年10月
村道認定：昭和59年3月21日（供用開始：昭和59年4月1日）
県道昇格：平成7年4月1日
(県道再編、東岩本青龍寺鶴岡線＋大鳥落合線＋林道)
- (3) 主な役割 山形県鶴岡市と新潟県村上市を結ぶ連絡路
- (4) 交通量 1,919 台/12h (R3 センサス 鶴岡市砂川 地内) (推計値)
- (5) 冬期閉鎖 11月上旬から翌年6月下旬
- (6) 近年における通行規制の状況（冬期閉鎖以外）

大雨による土砂流出や防災工事のため通行規制を行っています。

年度	規制期間	内 容	通行可能日数
R 1	—		106 日
R 2	R2.07.28 ～ R2.08.12	大雨による土砂流出	137 日
R 3	—		141 日
R 4	R4.08.03 ～ R4.10.05	大雨による土砂流出	59 日
R 5	全期間	災害復旧工事のため全面通行止	0 日
R 6	R6.07.12 ～ R6.09.10	大雨による土砂流出	42 日
	R6.09.20 ～ R6.10.11	落石	
R 7	—		117 日

※ なお、当該区間は幅員狭小、路肩軟弱のため、幅 2.2mを超える車両通行止と夜間通行止(19:00

～5:00) を行っています。

2 防災工事について

落石危険度の高い箇所の防災工事を実施しています。

大雨により土砂が流出した場合は、速やかに土砂の撤去を行っています。

令和4年度（対策工事着工前）



（完成）



令和5年度（路肩欠損 対策工事）



（完成）



令和8年度（予定）

路肩補修工事

3 山形県側 今後の見通しについて

この区間は冬期閉鎖区間となっており、春季の除雪および路面補修などを行ったうえで、安全確認後に開通となります。令和8年度は路肩補修工事を実施するため、7月上旬ごろに全線開通の予定です。（※山形側のみ。新潟側は引き続き通行止めの見込み。）

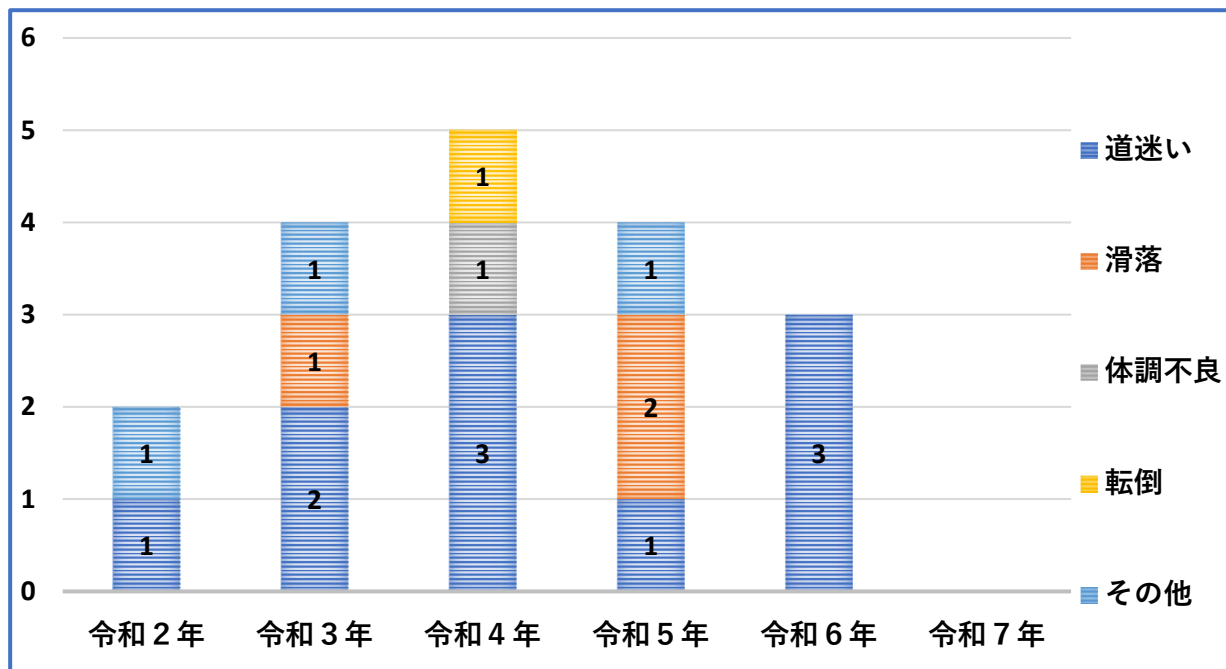
ただし、当区間には落石等の危険箇所が点在しているため、土砂崩落や倒木の状況によっては、開通時期が遅れる場合があります。また、災害発生時には、復旧工事に伴う通行規制を行う可能性があります。

今後とも通行車両の安全確保を最優先として、危険箇所の解消を図り、朝日スーパーラインの適切な維持管理に努めてまいります。

朝日スーパーライン利用促進協議会総会 資料

新潟県村上警察署

1 年・原因別の山岳遭難認知状況



2 令和6年中の山岳遭難認知状況

番号	発生日時	発生場所	遭難者	登山目的	遭難の原因	結果
1	4月5日	村上市石住地内	村上市居住 20歳代 女性	その他	道迷い	犬の散歩中、犬が山方向に逃げたことから探しに入り道に迷ったもので家族からの届出で捜索、警察で無事発見し救助した。
2	5月18日	岩船郡関川村大字片貝地内	関川村居住 70歳代 女性	山菜取り	道迷い	山菜取りに夢中になり現在地が分からなくなり、携帯電話で警察に救助要請し、警察が捜索し当署員が発見、無事救助した。
3	9月28日	岩船郡関川村大字ハツ口地内	東京都板橋区居住 70歳代 男性 ----- 埼玉県朝霞市居住 50歳代 女性	溪流釣り	道迷い	溪流釣りに夢中になり道に迷い携帯電話で消防に救助要請、防災ヘリで無事救助した。

※ 令和7年中は村上警察署署管内における山岳遭難の認知ありません。

新潟県内の山岳遭難統計

年	目的	発生 件数	遭難者数									
					死者		行方不明者		負傷者		無事救出者	
				県外		県外		県外		県外		県外
令和 7年	登山	61	73	49	4	2	0	0	29	18	40	29
	山菜取り	14	14	2	4	0	0	0	7	2	3	0
	その他	22	25	19	5	2	0	0	2	2	18	15
	計	97	112	70	13	4	0	0	38	22	61	44
令和 6年	登山	73	85	57	10	8	0	0	24	16	51	33
	山菜取り	21	21	2	1	0	0	0	11	1	9	1
	その他	20	30	27	1	1	0	0	4	3	25	23
	計	114	136	86	12	9	0	0	39	20	85	57
増 減	登山	-12	-12	-8	-6	-6	0	0	5	2	-11	-4
	山菜取り	-7	-7	0	3	0	0	0	-4	1	-6	-1
	その他	2	-5	-8	4	1	0	0	-2	-1	-7	-8
	計	-17	-24	-16	1	-5	0	0	-1	2	-24	-13

※ 遭難者数は、令和6年から令和7年にかけて減少したが、死者は増加。

※ 遭難者数の大多数が、登山中の事故。

※ 令和6年及び令和7年の遭難者数のうち県外者は、共に約63%。

鶴岡警察署管内・山岳遭難発生状況について

令和 7 年の発生状況

4 件 4 名（死者 0 名、重傷 1 名、軽傷 2 名、怪我なし 1 名）

	発生日時	発 生 場 所	遭 難 者	目 的	原 因	備 考
1	2 月 6 日 (木)	鶴岡市少連寺字黒森 13-7 少連寺公民館北東方 約 1 km 先の山林内	県内居住 70 代男性	狩猟	熊の襲撃	・同行者なし ・携帯あり ・登山届なし ・猪の有害駆除のため 入山し、熊に襲われ、 その後自力下山 ・軽傷（数か所の咬傷）
2	8 月 2 日 (土)	鶴岡市羽黒町川代地内 月山八合目駐車場から 南東約 500m 先登山道	県外居住 50 代男性	登山	転倒	・同行者なし ・携帯あり ・登山届なし ・登山中に転倒 ・重傷（右足すね部骨折 の疑い）
3	10 月 18 日 (土)	鶴岡市羽黒町川代地内 月山八合目駐車場から 東約 300m 先登山道	県外居住 40 代男性	登山	道迷い	・同行者なし ・携帯あり ・登山届なし ・下山途中に日暮れに なり道に迷ったもの ・軽傷（左膝の打撲）
4	10 月 22 日 (水)	鶴岡市羽黒町手向地内 蝦夷館公園から北方約 1km の山中	県内居住 70 代女性	きのこ採り	道迷い	・同行者あり ・携帯なし ・登山届なし ・きのこ採りの途中で 道に迷ったもの ・怪我なし

（参考：発生状況の推移）

発生年	件数（件）	人数（人）	死 者	行方不明者	救出・自力下山など
令和 2 年	2	2	2	0	0
令和 3 年	11	11	2	0	9
令和 4 年	7	7	0	0	7
令和 5 年	6	6	0	0	6
令和 6 年	9	9	0	1	8
令和 7 年	4	4	0	0	4

【分析結果・発生傾向】

- 山菜採りの遭難者は地元の者
- 登山での遭難は県外者が多い
- 金曜日から日曜日にかけての週末に発生するが多い
- 近年は、携帯を持たずに遭難するケースはほぼなし
- 死亡するケースは同行者なしのことが多い（死亡は令和3年発生事案以降無）
- 登山届がないケースがほとんど
- 山岳遭難の当事者として取り扱われる人として、男性の割合が高い

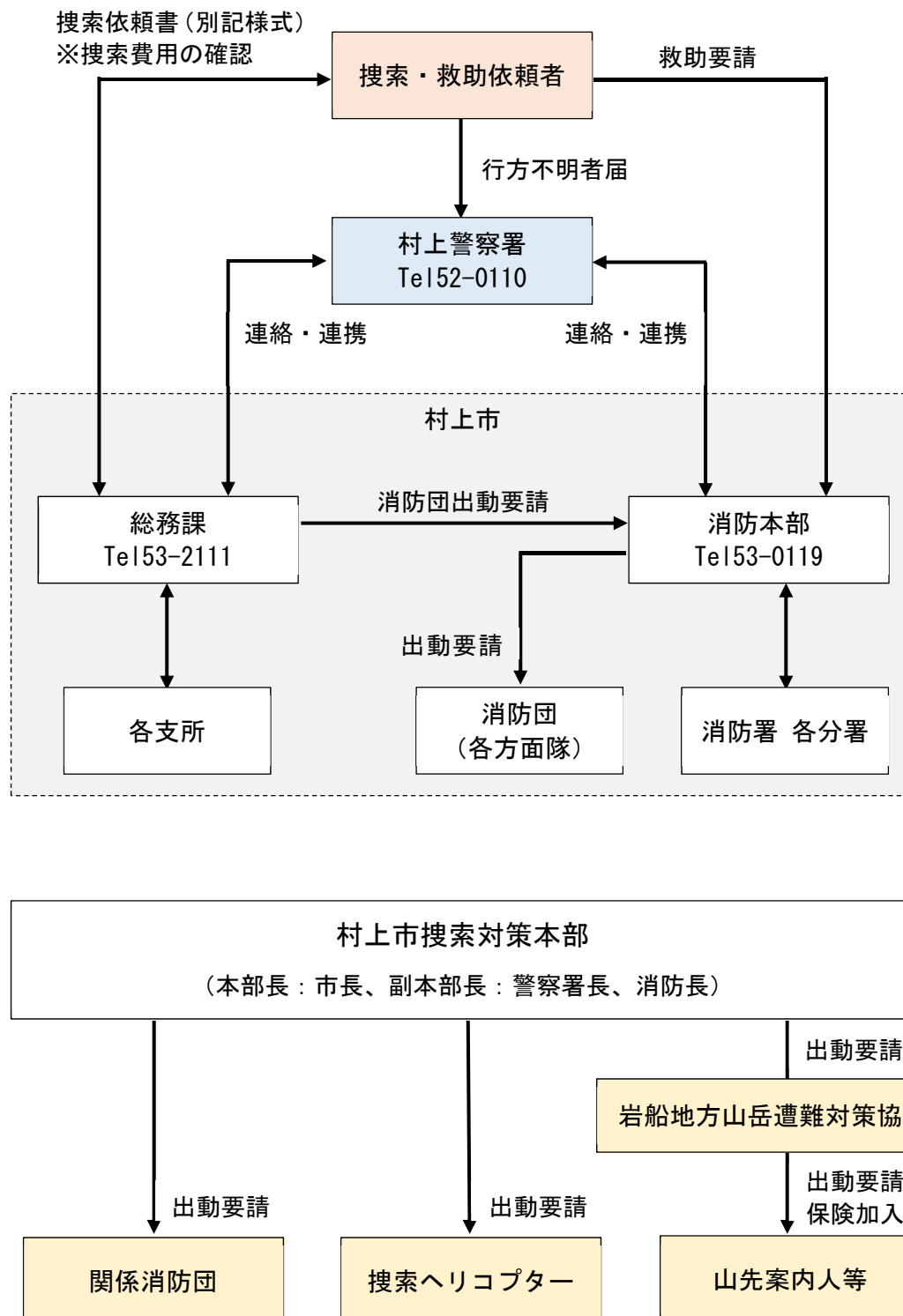
【問題点と対策】

- 登山者や仕事、山菜採りでよく山に入る人は登山アプリのインストールを推奨
山の地図の事前インストール、目的地までのナビゲート、旅程の概算時間の把握などが可能に（無料で利用できるアプリもある）
- 携帯を持参していてもバッテリー不足が懸念→モバイルバッテリーを携行
- 事前の体調管理と自らの体力の確認は必須
- 近年、野生の猪が増加傾向、熊の目撃件数も多数→野生動物に注意が必要

別表第1（村上市行方不明者の搜索・救助活動実施要綱 第6条関係）

山岳遭難搜索救助活動系統図

新潟県村上市



山岳遭難救助活動連絡体系図

朝日地域山岳遭難救助対策委員会
山形県鶴岡市朝日庁舎

